

投資事業評価図書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 多田 智 (課長補佐兼県道係長 吉村 文章)	内線	4362 (4376)
------	-------------------	---------------------	----------------------------------	----	----------------

事業種目	道路	事業名	事業区間	総事業費	約8.0億円
		道路改築事業 (一)岩屋生野線	かんざきくんかみかわちょういわや 神崎郡神河町岩屋	内用地補償費	約2.6億円
所在地		事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度	
神崎郡神河町岩屋		平成18年度	平成18年度	平成22年度	
事業目的		事業内容			
<ul style="list-style-type: none"> 本路線は、<small>かみかわちょう</small>神河町と<small>あさごしいくのちょう</small>朝来市生野町を結ぶ主要な路線である。当該区間は幅員狭小かつ線形が悪く車輛のすれ違いが困難であり通学路でありながら歩道も無い事から交通安全上危険な状態にある。 このため、現道を拡幅整備することにより、交通安全性の向上を図るとともに、特区計画を支援する道路として都市と農村の交流促進による地域づくりに貢献する。 		道路改築（現道拡幅） L = 1,910 m 【計画幅員】 W = 5.5 (9.25) m (2車線+片側歩道) 【現況幅員】 W = 4.0 (5.0) m 【計画交通量】 1,700台/日 【現況交通量(H11セカ）】 1,547台/日 【負担割合】 県：10 / 10 (合併支援県道整備事業)			

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 安全・安心の確保	<ul style="list-style-type: none"> 幅員が狭小で大型車の離合が困難であることから、円滑かつ安全な車輛の通行を可能にする。さらに、<small>あさごし</small>越知谷小学校の通学路でありながら歩道がなく、交通事故の危険性が非常に大きいいため安全な通学路を確保する。
くらしと交流を支える 道づくり	<ul style="list-style-type: none"> 本路線は、東西に長い神河町の骨格をなす道路で、旧 <small>かんざきちょう</small>神崎町 中心部と越知地域を結ぶ唯一の道路である。神河町の発足を踏まえ、越知地域と新町中心部とのアクセス向上により新町の一体感醸成を図る。 構造改革特別区域計画「<small>らくのう</small>楽農・<small>いなかびととく</small>田舎人特区」を支援する道路として、都市と農村の活発な交流促進による地域づくりに貢献する。 沿線の越知叺峰・千ヶ峰南山名水(約20千/年)、新田ふるさと村(約34千/年)など集客観光施設へのアクセス性向上により地域・観光振興を支援する。
地域ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 地域再生法に基づく地域再生計画のなかで、旧 神崎町の東西交通網の整備が求められている。
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> 費用便益比 B / C = 1 . 4
代替性	<ul style="list-style-type: none"> 急峻な山々と越知川に挟まれた地形的制約や沿道利用等を総合的に判断すると現道拡幅が最適である。
効率性 (事業執行環境)	<ul style="list-style-type: none"> 既存ストックを活用した現道拡幅により、事業効果の早期発現が可能である。 地元住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行へ向け、既に用地取得の面で地元の協力体制が整っている。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 切、盛土法面には周辺植生に配慮した緑化を行い、歩道には、自然環境の保全に配慮した透水性舗装を施工する。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 岩屋から越知地区までの間を順次整備を進めており、越知集落内の整備が昨年度完了したことから平成18年度より事業着手する。 平成17年度に認可された「楽農・田舎人特区」などの地域活性化策を円滑に進めるためにも早期整備が必要である。